

令和2年度

第2回 大磯町総合教育会議

**人口減少・少子高齢化社会に対応した
活力ある学校教育の実現について**

令和2年12月25日

大磯町 政策総務部 政策課

**令和2年度
第1回 総合教育会議**

～前回の振り返り～

令和2年度 第1回総合教育会議

『小学校高学年における 教科担任制の導入について』

【背景】

- 新学習指導要領による外国語教育・プログラミング教育の導入
- 令和4年度を目途に導入の検討

第1回総合教育会議の協議結果①

【教員の視点】

- 教員の働き方改革や質の向上につながる
- 不得意な分野を専門の教員が補える
(教員の得意分野を生かせる)
- 1クラスを複数の教員の目で観察できる

第1回総合教育会議の協議結果②

【児童の視点】

- 小学校と中学校のギャップの解消に有効
（中一ギャップへの対応）
- 専門的な授業を取り入れることによる
中学校へのスムーズな移行
- 授業の質の向上による学力の向上

第1回総合教育会議の協議結果③

- 国府小では、『交換授業』を実施
- 大磯小では、『交換授業』をR2から開始

両小学校ともに、来年度以降の導入に向けて、前向きに研究



導入に向けて、積極的に検討すべき！

**令和2年度
第2回 総合教育会議**

**『人口減少・少子高齢化社会に対応した
活力ある学校教育の実現について』**

第2回総合教育会議の取組み①

- 人口減少・少子・超高齢社会の進展
⇒ 年少人口（0歳～14歳）が減少傾向
- 大磯町の児童・生徒数は、ほぼ横ばい
⇒ 近い将来、減少することが確実！

第2回のテーマ



人口減少・少子高齢化社会に対応した
活力ある学校教育の実現について

人口減少・少子高齢化の現状①

単位：人

大磯町の人口のピーク

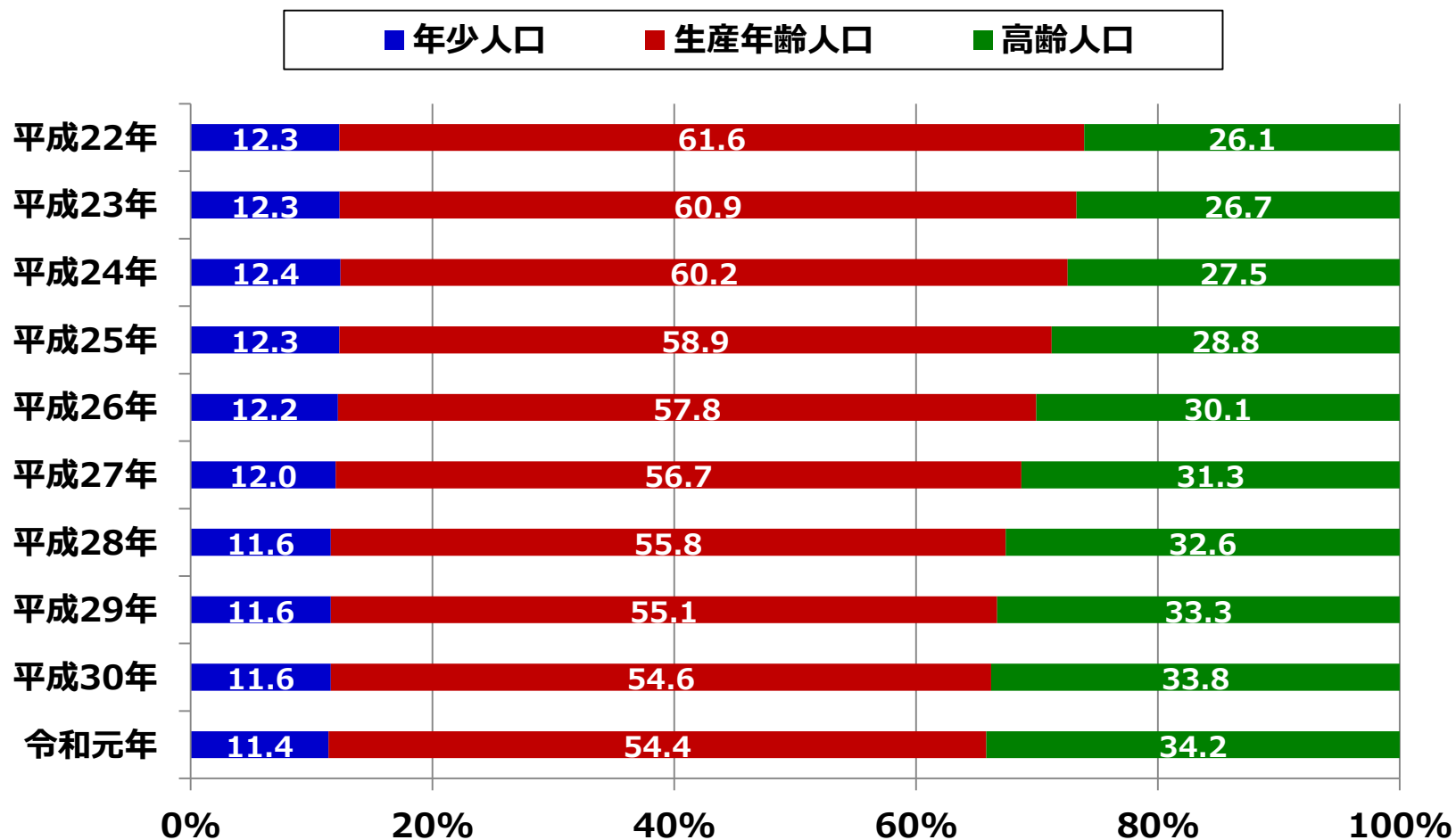
10年間で
約1,700人減少!!



◆総人口	33,032	32,986	32,748	32,496	32,439	31,550	31,467	31,449	31,467	31,284
------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

人口減少・少子高齢化の現状②

【年齢3区分の割合】



人口減少・少子高齢化の現状③

単位：人

年	人口	自然動態			社会動態			人口増減
		出生	死亡	差引	転入	転出	差引	
H22	33,032	216	340	△124	1,374	1,196	178	54
H23	32,986	212	353	△141	1,077	1,172	△95	△236
H24	32,748	184	340	△156	1,207	1,298	△91	△247
H25	32,496	201	359	△158	1,227	1,224	3	△155
H26	32,439	169	343	△174	1,230	1,176	54	△120
H27	31,550	173	328	△155	1,321	1,207	114	△41
H28	31,467	186	352	△166	1,298	1,097	201	35
H29	31,449	201	381	△180	1,300	1,112	188	8
H30	31,467	167	382	△215	1,202	1,105	97	△118
R01	31,284	167	402	△235	1,188	1,116	72	△163

人口減少・少子高齢化の影響①

- 子どもたちのふれあいの機会の減少
- 子ども同士の切磋琢磨の機会の減少
- 地域での異年齢集団の形成が困難



人間関係の持ち方やルールを学ぶといった
社会生活の基盤を培う体験の機会の減少

人口減少・少子高齢化の影響②

○ 親の子どもに対する

過保護・過干渉の傾向



- 子どもの成長や自立に不可欠な経験が得られにくい
- 自分の意志で自分の目指すことにチャレンジすることを回避する

人口減少・少子高齢化の影響③

- 一定規模の集団を前提とした
教育活動などの実施が困難



- 運動会や文化祭などの学校行事、部活動、地域の伝統行事などの継続が困難に！

人口減少・少子高齢化の影響④

- 教員の人数や時間的ゆとりの確保
- ゆとりある学校施設・設備等



- 少人数学級のさらなる推進
- 『個に応じた教育』への対応
- きめ細かな教育の一層の充実
- 学校施設・設備等の有効活用

他の自治体・学校での取組み

～『少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業』取組モデル～

【参考資料】

平成30年度・平成31年度「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」モデル事業（文部科学省）

① 埼玉県秩父市

秩父市小規模校教育高度化推進プロジェクト ～小中連携による学力向上を目指して～

○ 少人数であることを最大限に生かす

- ・ 一人ひとりの特徴に応じた指導
- ・ ICT機器を効率的に活用した

学びの質の向上

- ・ 小中連携による合同学校行事や
地域と連携した児童・生徒の連携交流

② 山梨県韮崎市

魅力あふれる小規模校高度学習の推進

○ ICT環境の整備と学校間の交流

- ・ ICT機器活用講座や研修会の開催
- ・ 小中学校間のWeb会議・

遠隔授業を活用した交流授業

- ・ 学校支援アドバイザーを活用した

主体的に表現できる指導方法の開発

(自分の考えや意見を分かりやすく伝える など)

③ 大阪府豊能郡能勢町

次代の能勢を担うグローバル人材の育成

- 地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策の研究
 - ・ コミュニティ・スクールとの連携
 - ・ 小中高の教員が協働して創り上げた提案の公開（小中高一貫教育の推進）
 - ・ ICT機器を活用した授業の研修の実施
 - ・ 自ら発信する活動を積極的に取り入れた授業

④ 山形県最上郡最上町

最上町小学校統合プロジェクト ～ふるさと地域共育カリキュラムの創造～

- 教育資源の有効活用と地域活動の活性化
 - ・ コミュニティ・スクールの導入
 - ・ 地域コーディネーターを活用した児童と
地域住民によるふるさと学習の推進
 - ・ 『ふるさと地域共育カリキュラム』の創設
(教育資源を活用した新たな地域学習カリキュラム)

⑤ 神奈川県足柄上郡松田町

学校統合における魅力的な小中一貫教育校の創造
～先進的ICT環境・外国語教育を取り入れた新しい学校づくり～

- ・ 小中一貫教育導入の検討
- ・ 幼少中12年間の教育課程の編成
- ・ ICT機器を活用した
『教室－教室接続型』遠隔合同授業
- ・ ALTと連携した外国語教育の推進
(英語検定受検料の補助 など)

⑥ 鳥取県鳥取市

統合を契機とした魅力的な 学校づくりに関する先進的な取組

- ・ 施設分離型 5・4 制義務教育校の開校
(平成30年4月～)
- ・ 地域の文化や歴史、人材などを活用した
特色ある教育課程の実践と検証
- ・ 特設教科『表鷺科 (あらわしか) 』の新設
(子どもたちに身に付けてほしい力に焦点化した独自教科)

他の自治体・学校での取組み（まとめ）

- ICT機器を活用した授業・研修の工夫
- 小中連携・学校間の連携
(小中一貫教育)
- 地域との連携（コミュニティ・スクール）
- 地域の自然、歴史・文化などの
特性を生かした教育の実践

子どもたちの『個の力』を伸ばす工夫

「人口減少・少子高齢化社会」

これから『大磯町の教育』は、

どうしたらいいの？



第2回総合教育会議の協議事項

「人口減少・少子高齢化」を見据え、

- 今後の方向性は？
- 考えなければならないことは？
- 取り組むべきことは何か？

など・・・

『地域』『家庭』『学校』の関わり方

